

説明会資料に関する事前意見及び市の考え方について

	年代	性別	資料に関するご意見など	所管課	市の考え方
1	30歳代	男	・企業誘致等によって市税が増加したとありますが、これからも増える見込みでしょうか。今後の市税の推移についてはどう分析していますか。	財政課、政策調整課	社会情勢の影響を受けやすい法人税による大幅な増減の可能性はあるものの、沖村西部土地区画整理事業などによる増収も見込まれ、当面は堅調に増加傾向で推移すると見込んでおります。
2	30歳代	男	・P4に自主財源の割合が増加しているとありますが、一方で左下のグラフだと令和5年度から令和6年度にかけて自主財源比率が減少しています。一見すると直近の決算年度である令和6年度の状況を言っていると捉えがちですが、この自主財源の割合が増加しているというのはあくまで令和5年度までのことを指しているという認識でよろしいでしょうか。	財政課、政策調整課	P4の注意書きにもありますとおり、令和6年度は国による定額減税の影響で、市税が減収となり、その分国から補填されているため、自主財源比率は減少しておりますが、実質的には増加しているものと考えております。
3	30歳代	男	・P5のグラフだと経常収支比率が最も大きく改善したのは令和3年度であり、この市民説明会が始まる前です。「事務事業の見直し・行財政改革の取組」によりとありますが、これは普通交付税の増ではなく、経常的経費の削減により改善したということでしょうか。資料には、歳入も歳出も令和2年度のグラフが載っていないので、具体的にどういった要因で改善したのか教えていただきたいです。	財政課、政策調整課	経常収支比率の改善については、普通交付税の増加も要因ではありますが、普通交付税の増加は他市町でも同様の状況です。以前は経常収支比率が他市町よりも高い水準にあったものが、同等の水準まで抑えられているのは、義務的経費の削減による効果もあると考えております。
4	30歳代	男	・下水道事業に関しては使用料(私費)だけで賄えないため、総務省が示す繰出基準に基づき公費を投入していると思います。P7に都市計画事業基金を下水道事業に充当していると思いますが、これによって一般会計からの繰出金はその分抑えられているということでしょうか。また、基金の取り崩しに関し、直接下水道事業会計に繰り入れているのか、それとも一般会計から下水道事業会計への繰出金に対して充当しているのでしょうか。	財政課、下水道課	都市計画事業基金は、一般会計からの繰出金に充当しております。
5	30歳代	男	・ホームページがリニューアルしてから北名古屋百景のページが発見できません。北名古屋市の魅力を市内外に発信するために非常に有効なツールだと考えていたのですが…。これによってホームページのランニングコストが変わらないのであれば、ぜひ復活してほしいと願っていますので、あくまで要望としてお伝えしておきます。	秘書広報課	ホームページのリニューアルにより、国の定めるウェブアクセシビリティの基準に適合しない部分があり、やむを得ず掲載を終了したという経緯があります。北名古屋百景は市制10周年記念事業で制作したものであり、来年度の市制20周年記念事業におきましても、「北名古屋の魅力を伝える」事業を実施する予定です。
6	30歳代	男	・中学校体育館の空調整備費用の約7割が交付税措置とありますので、財源は緊防債でしょうか。だとするならば、災害時は避難所としてこの空調を活用できるのでしょうか。	財政課、学校教育課、危機管理課	中学校の体育館は指定避難場所に指定されておりますので、避難場所として活用できます。活用している起債については、ご認識のとおりです。
7	30歳代	男	・市制20周年記念事業の財源は主に寄附金だと思いますが、ごみの減量と同様目標値を定め、進捗状況を広報紙やホームページで発信してみてもはどうでしょう。臨時的な経費とはいえ、極力寄附金で賄い、一般財源の持ち出しを減らせるのが理想だと思います。	政策調整課	市制20周年記念事業は、原則寄附金で賄うことを想定しております。寄附の状況などについては、寄附者様のご意向も踏まえ、適切に発信してまいります。
8	30歳代	男	・これだけの行財政改革を行い、経常経費を切り詰めて生み出した財源の使い道がスポーツ・レクリエーション施設の整備というのは疑問を感じます。施設の整備・維持管理に係る概算費用と、それによってどれほどの効果もたらされるのか、数字的な根拠をもった資料の提示が必要だと考えます。	スポーツ課、都市整備課、政策調整課	スポーツ・レクリエーション施設は、市の負担を極力減らしつつ、市に賑わいや魅力を創出する施設とするため、施設整備や維持管理に民間活力の導入を検討しています。民間のノウハウやアイデアにより、利用人数や周辺エリアへの影響など効果を想定し、施設内容を考えてまいります。
9	30歳代	男	・児童遊園の総量は縮小するのに、都市公園の整備を促進するのは矛盾している気がするのですが…。説明をお願いします。	政策調整課、施設管理課、都市整備課	児童遊園と都市公園は、対象や目的、施設規模などが大きく異なる施設です。都市公園の整備により、一部の児童遊園の機能を集約する事ができるものと考えております。
10	30歳代	男	・徳重・名古屋芸大駅周辺の安全対策とありますが、具体的には歩道を整備するということでしょうか。	都市整備課	地域の皆様のご意見、愛知県(県道名古屋豊山稲沢線管理者)や警察など関係機関との調整を踏まえ、具体的な安全対策方法を決定します。
11	30歳代	男	・今後の取り組みについて記載されている内容は臨時的経費に該当するものが主だと思います。だとすると、その執行に限って言えば、経常収支比率を上げる要因にはならないという理解でよろしいでしょうか。	財政課、政策調整課	施設の整備などには起債を活用するなど、義務的経費への影響も考えられると思われます。
12	50歳代	女	市民サービスについて。 本人が5年前に、母が3年前に带状疱疹となり、ペインクリニックに通ったりしましたが、仕事をしながらの治療でとても大変な思いをし、母は今でも後遺症に苦しんでいます。65歳からは公費負担があるとは言え、国からは50歳を過ぎたら予防接種を推奨されており、現時点で調べると愛知県では8割の市町村が一部助成をしているのに、北名古屋市は助成金がなく、不公平感を感じます。後遺症が残ると働きたくても働けなくなるリスクの高い带状疱疹について、助成金の支給を考えていただけないでしょうか。市での捻出が難しいのであれば、県や国からの助成を依頼することをご検討いただければと思います。	健康課	本市では令和7年度より65歳以上の方を対象とした公費負担を伴う予防接種を開始しました。今後、接種状況や他市町の動向を確認しながら、50歳以上の方への助成について検討を進めてまいります。
13	50歳代	女	また、西と東庁舎の役割分担での経費削減目的は理解できますが、これまで以上に高齢の両親が窓口へ行くことが負担となり、子供の方も平日に仕事を休みづらい職種であるため、手続き一つ取ってもとても手間で困っています。土日祝にコンビニで可能な業務や電子での申請が可能な環境など、市民に負担の少ないツールを増やしていただきたいです。	政策調整課、情報推進課	市民サービスの向上に向け、今後もオンライン申請などについては、拡充を進めていく予定です。
14	30歳代	女	まず、これまでの改革プランを着実に実行されてきたことについて、心から感謝を申し上げます。市民として非常に頼もしく、前向きな姿勢を感じています。 <沖村地区のスポーツレクリエーション施設について> 他市の類似施設を参考に、綿密な計画を立てていただきたいと考えます。具体的には、以下のような環境を望みます。 ・近年の異常な酷暑に備え、屋根付きの広場や、芝生エリアなど、気候に配慮した空間づくり。 ・WEB予約システムなどを活用し、駐車場が不足しない(満車が頻発しない)こと ・持ち込んだ弁当などが食べられる食事スペースの確保 ・小さい子供と大きな子供、それぞれが安全に遊べる分けられた空間 ・可能な限り、保護者が立ちっぱなしや付きっきりにならなくても安心して子供を遊ばせられる環境(休日の親は疲労困ぱい…) ・利用料が手頃であること(せめて市内在住者は安価に)	都市整備課、スポーツ課	・施設の整備や管理運営には、民間企業のノウハウや創造的なアイデアを積極的に活用し、市全体の賑わいと新たな魅力の創出を目指します。 ・民間企業から提案を募るにあたっては、お子様からご高齢の方まで多世代にわたるニーズ、天候への対応、市内外の近隣施設との差別化といった多様な観点から、導入すべき機能を検討します。また、機能に併せて料金の水準を検討します。
15	30歳代	女	<子育て世帯からより多くの意見を集めるには> 届いた声を迅速に実現する「スピード感」が重要だと考えます。理由は以下の通りです。 実際に当事者にならないと分からない改善点や課題が多いこと。また、子育て期間は老後に比べて短いため、意見がすぐ反映されなければ、自身が恩恵を受ける機会が限られてしまうこと。 よって多忙な子育ての合間に意見を出しても、迅速な改善が期待できないと感じると、意見発信の意欲が低下する可能性があると考えます。 ぜひ現場の声が即座に反映される体制作りをお願いします。 市の更なる発展と、子育て世帯にとってより住みやすい環境づくりを心より応援しております。	政策調整課	ご意見のとおり、施策の実現にはスピード感が大変重要と考えておりますが、あわせて、関係者との丁寧な合意形成などにも必要と考えております。今後も皆様のご理解をいただきながら、スピード感を意識して、施策実現に向けて進めてまいります。